

安芸地域アクションプランの進捗状況等について

安 芸 地 域 本 部

令和4年2月10日（木）

安芸地域アクションプランの進捗状況等

R4.2.10

安芸地域本部

1 地域アクションプランの令和3年度第3四半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全項目（30項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進している。

新型コロナウイルス感染拡大により、安芸地域においても、各地で集客イベントの中止が相次ぎ、地域の観光施設や宿泊施設等への入込客数の大幅な減少や、店舗の一時休業・営業活動の停止など、幅広い分野で影響が出ている。依然として、先行きが見通せない状況にあるが、新しい生活様式や社会・経済構造の変化に対応するための新たな取り組みや県市町村の独自の支援策を活用した取り組みなど、地域経済回復に向けた動きも見られている。

農業分野では、ユズについて、青果及び加工玉の生産拡大や品質向上に向けて、栽培講習会の実施のほか、優良系統苗の確保や鳥獣被害対策の実行支援などを行っている。ナスについては、生産拡大と産地力の向上を目指して環境制御技術の推進や品質向上に向けた栽培指導などに取り組んでいるほか、付加価値向上に向けて、加工品の磨き上げや機能性表示を利用した販売促進に取り組んでいる。

林業分野では、新型コロナウイルスによる影響が一部で見受けられる中、土佐備長炭の生産量拡大を目指すため、原材料の確保に向けた森林情報の解析を進めるとともに、生産技術を継承する後継者育成の研修や原木の地域内再生産による生産コスト縮減など、地域伝統産業としての基盤整備に取り組んでいる。

さらに、林業加工品関係では、馬路地域の林業事業者が経営力強化のために事業計画の見直しや経費縮減を目指した事業戦略の策定に取り組み、事業の維持と雇用の継続に努めている。

水産業分野では、近海マグロの簡易加工品開発や製造体制の構築、加工品製造における衛生管理の推進など、付加価値向上と販路拡大の取り組みを進めている。

商工業分野では、芸西村の特産品であるサトウキビを活用した加工品の開発や販売促進に取り組んでいるほか、室戸市においては、昨年度に策定された室戸市中心市街地振興計画に沿った事業が進みつつある。

観光分野では、コロナ禍の影響から、圏内主要施設訪問者及び圏内宿泊者数は平常時と比較すると昨年度から引き続き低迷しており、苦しい状況が続いている。その中でも、4月には安田町において「安田川アユおどる清流キャンプ場」がリニューアルオープンするなど、拠点施設の魅力向上が進んでいるほか、体験事業者等による土佐の観光創生塾を活用した着地型観光商品の造成・磨き上げなど観光コンテンツの充実に取り組んでいる。

また、教育旅行の誘致受入拡大やWEB、SNS等デジタルメディアを活用した情報発信など、関係機関とも連携しながらウイズコロナ・アフターコロナの状況下での誘客も意識した取り組みを行っている。

(2) 具体的な動き

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 安芸地域のユズを中心とした中山間振興(安芸地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知県(安芸地区)</p> <p>◎・JA馬路村</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 総出荷量(JA高知県)</p> <p>出発点(H27-R元平均):5,079t</p> <p>直近値(R2):5,529t</p> <p>到達目標(R3):5,300t</p> <p>目標(R2-R5平均):5,500t</p> <p>(2) 通販販売額(JA馬路村)</p> <p>出発点(R元.1-12月):8.1億円</p> <p>直近値(R2):8.1億円</p> <p>到達目標(R3):8.5億円</p> <p>目標(R5.1-12月):10億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 総出荷量(R3.12月末):-</p> <p>(2) 通販販売額(R3.12月末):8.1億円 (対前年同期比:100%)</p> <p>○生産拡大と品質向上の取り組み(新植・改植の推進)</p> <p>【JA高知県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習会等の実施(4/14、5/18、5/23、5/26、6/23、7/14、7/15、7/26、9/17、10/7、10/8、10/9、10/12) ・優良系統の探索について周知(5月 中芸集出荷場支部総会で呼びかけ、10月 柚子部目慣らし会で呼びかけ) ・新植・改植にかかる優良系統苗の確保に向けた取り組み(母樹管理指導:7~8月 4回) R4年供給苗の生育確認:7月 1回、R5年供給苗の穂木確保:8月 ・鳥獣被害の実態把握と対策検討 (打ち合わせ:6/4、12/22) 防護柵設置箇所の現地確認、設置準備 (12/27、12/28) ・園地集約等に関する検討(園地調査:6月 2回、7月 2回) 園地集約等に向けた意向調査の実施(12月)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>【JA 馬路村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地維持に関する検討（打ち合わせ：6月～12月 4回） <p>○安定供給と販路開拓の取り組み</p> <p>【JA 高知県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青ゆずまつり（8/21～9/5） ・ポン酢新商品消費宣伝（10/23～24） ・横浜小学校への青果ユズの提供（11月 神奈川） ・黄ゆずまつり（12/19） ・青果輸出の実施 2.3t（11/2、11/9） <p>【JA 馬路村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品 PR facebook 配信（10～12月）、首都圏日経新聞へ折り込みチラシ（7月） ・新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金を活用したユズゼリー等充填機械の整備及びECサイトの改修等の実施中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実の品質向上と安定供給、販売強化 ⇒新植・改植の推進などの取り組みを着実に継続 ・加工品の販売強化 ⇒消費者ニーズに沿った商品開発による品揃えの充実（JA 馬路村） ⇒facebook 内容見直しによる PR 強化（JA 馬路村）

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA 高知県（安芸地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆめファーム全農 NEXT こうち ・(株)アグリード土佐あき ・安芸市担い手支援協議会 ・安芸市施設園芸消費拡大委員会 ・(一社)高知県東部観光協議会 ・(一社)安芸市観光協会 ・安芸商工会議所 ・地元加工業者 ・加工グループ ・地元飲食店 ・地域直販所 <p>※地域産業クラスター関連（日本一のナス産地拡大プロジェクト）</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 出荷量</p> <p>出発点（H28.9月～R元.8月平均）：18,674t</p> <p>直近値（R2）：18,996t</p> <p>到達目標（R3）：19,200t</p> <p>目標（R4.9月～R5.8月）：20,000t</p> <p>(2) 新規加工品開発数</p> <p>出発点（H29～R元累計）：2件</p> <p>直近値（R2）：2件</p> <p>到達目標（R3）：2件（R2～R3累計）</p> <p>目標（R2～R5累計）：3件</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 出荷量（R3.8月末）：19,119t(対前年同期比:101%)</p> <p>(2) 新規加工品開発（R3.12月末）：0件</p> <p>○新技術の導入と担い手確保の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆめファーム全農こうちNEXTへの高収量生産技術指導普及月例会：2回（4/28、6/1、7/7、10/7） ゆめファーム研修カリキュラム等打合せ（8/20） ゆめファーム全農こうち「つる下ろし栽培」現地検討会：4回（7/30、9/28、10/13、12/9） 共同研究に関する打合せ：1回（4/19） ・環境制御技術導入農家へのサポート及び新規導入推進改善志向農家への個別指導：のべ832回（4～12月） ・増収阻害要因の究明と対策 生理障害果発生実態調査：314圃場（4～11月）、難防除病害対策の実施状況・発病状況調査：50圃場（4月）、30圃場（12月） 中間報告：8回（連絡会、研究会）（4～12月） ・アグリサポートによる労働力確保（農福連携等） 農福連携研究会：9回（4～12月） 農福連携高知県サミット in あき：1回（7/9） ・新規就農者の早期経営安定支援 個別巡回指導：20人延べ269回（4～12月） 安芸市担い手支援協議会幹事会：9回（4/21、5/20、6/29、7/21、8/25、9/22、10/22、11/29、12/20） 安芸市就農支援チーム会：7回（4/12、5/21、

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>7/6、9/6、10/4、11/1、12/3)</p> <p>○加工品の販売拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化アドバイザーを導入し焼きナスアイスの販売拡大及び冬季の販売戦略について検討(安芸グループふぁーむ)(5/25、6/25、9/8、11/4) <p>○ナスの消費拡大と認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市施設園芸品消費拡大委員会：小中学生対象ナス出前授業及び収穫体験(6/15、6/16、6/18、6/21、6/28)、安芸中学校食育授業(5/13、5/21、6/26) ・三山ひろし氏の「高知なす宣伝隊長」就任式においてナスのレシピ動画に出演しているなすマダムが、なす料理の調理法を披露(5月) ・ナスのレシピ動画撮影(10月：2品)、HP及び動画サイトに公開(11月：2品) ・機能性表示を活用した販売促進 サプリメント用規格外品の出荷(6月：17.5t) PRチラシ・ポスター・のぼり旗の制作(4月) HP及び動画サイトでのPR動画公開(4月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○新技術の導入と担い手確保の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の早期経営安定 ⇒個々の課題整理と目標の共有、個別巡回・面談による栽培及び経営改善指導の実施 <p>○新規加工品の開発及び販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2に開発した加工品についてコロナの影響で磨き上げや商談が出来ない。 ⇒コロナが終息するまで新たな活動は見送ることとし、従来品の販売拡大及び冬季の販売強化に取り組む。(HP内に業務用のオンライン販売ページ作成、ギフト向け及びターゲット毎の商品構成・パッケージの検討等) <p>○ナスの消費拡大と認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能性表示食品(サプリメント)向け原材料の安定取引 ⇒必要な原材料を供給出来る体制づくり ・ナスのレシピ動画を活用した効果的なPR方法(当初の制作目標数10本に到達) ⇒動画制作の継続及びバージョンアップについて検討 ・安芸市全体での取組実施

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒市内のなす料理等提供店や関係機関と連携した取組の来年度実施に向けた検討
<p>■No.3 東洋町のポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興（東洋町）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・フクチャン FARM</p> <p>◎・東洋町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 	<p>[指標]</p> <p>(1) 商品開発数</p> <p>出発点 (H28～R 元累計) : 15 商品</p> <p>直近値 (R2) : 0 商品</p> <p>到達目標 (R3) : 1 商品</p> <p>目標 (R2～R5) : 4 商品</p> <p>(2) 商品の販売数 (1～12 月)</p> <p>出発点 (H30) : 6,574 個</p> <p>直近値 (R2) : 7,940 個</p> <p>到達目標 (R3) : 8,100 個</p> <p>目標 (R5) : 8,400 個</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1) 商品開発 (R3.11 月末) : 1 商品 (対前年同期比 : 100%)</p> <p>(2) 商品の販売数 (R3.11 月末) : 7,544 個 (対前年同期比 : 103%)</p> <p>※フクチャン FARM カフェのオープン (令和 2 年 6 月～) に伴う増加</p> <p>○東洋町のポンカン生産維持に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール高知にてポンカン商品の販売 (れんけいこうちのイベントへの出店 6/19、6/20) ・地域おこし協力隊 1 名の採用 (7 月) ・東洋町ポンカン振興対策協議会総会の開催 (6 月) ・6 次産業化サポートセンターのアドバイザー派遣 (フクチャン FARM) ・ポンカン収穫人手確保のため、ワーキングホリデーの活用 (2 名) ・高知県 6 次産業化商品力向上事業費補助金の活用により、商品パッケージの改良を行う (フクチャン FARM) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内における東洋町のポンカンの知名度の低さ ⇒イベントへの出店や、県内量販店での販売などによって知名度の向上を目指す。

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手確保によるポンカン生産の維持 ⇒担い手確保に向けた各関係機関との連携強化、地域おこし協力隊などによる担い手確保
<p>■No. 4 芸西村の白玉糖による地域活性化 (芸西村)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・芸西村製糖組合 ◎・大和リゾート(株) <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・集落活動センターげいせい ・生産者グループ 	<p>[指標]</p> <p>(1) 村内サトウキビ収穫量 出発点 (H30) : 19t 直近値 (R2) : 31t 到達目標 (R3) : 23t 目標 (R5) : 25t</p> <p>(2) 体験プログラム参加人数 出発点 (R元) : 21人 直近値 (R2) : 10人 到達目標 (R3) : 50人 目標 (R5) : 2,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 村内サトウキビ収穫量 (R3. 12月末) : - (2) 体験プログラム参加人数 (R3. 11月末) : 21人 (対前年同期比 210%) ※コロナの影響が前年度より少なかったため増加。</p> <p>○白玉糖の販路拡大・品質向上 <販路拡大></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイヤルホテル土佐による白玉糖を活用した商品の展開 (食パン、シフォンケーキ、フィナンシェ等) (5月～) ・白玉糖及び白玉糖を活用した食品の取引先の確保 (ロイヤルホテル土佐、高知空港、県庁生協等) (5月～) ・「産業振興計画」特別番組で製糖作業等を放映 (6/13、6/19) ・中山間対策広報特別番組で白玉糖ケーキ等放映 (9/18、9/26) ・広報広聴課「くろしおくん」ツイッターにて白玉糖関連の食材の周知 (6/24、9/28) ・サニーマートでの白玉糖商品の取り扱い (12月～) ・ANA 応援キャンペーンとの連携 (11月～)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p><品質向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HACCP 取得に関する福祉保健所との協議 (7/12) ・ 芸西村、製糖組合等との HACCP 取得に向けた協議 (7/20) ・ HACCP 専門家による芸西村伝承館の現地指導及び書類作成指導等 (11/25、1/26) <p>○体験メニューの実施・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製糖組合、ロイヤルホテル土佐、芸西村、県(地域観光課、安芸地域本部)で情報共有及び意見交換会 (6/18) ・ 黒潮町黒糖づくり作業場視察&ヒアリング (6/30) ・ 土佐くろしお鉄道イベントでの白玉糖づくり体験メニューの導入 (1/29 予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白玉糖及び白玉糖を活用した新商品の販路拡大 ⇒白玉糖商品を取り扱う事業者の確保 ・ 製糖作業時における衛生環境の向上 ⇒手引書に基づいた衛生管理の徹底及び新たな体験施設の検討 ・ 体験メニューの磨き上げ ⇒体験コースの説明チラシの作成とオプションメニューの考案が必要
<p>■No. 5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化(室戸市、東洋町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・室戸市木炭振興会 ◎・土佐備長炭室戸生産組合 ◎・土佐備長炭生産組合 ◎・上土佐備長炭東洋組合 ◎・備長炭生産者 <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・東洋町 	<p>[指標]</p> <p>生産量 (年次)</p> <p>出発点 (H30) : 1,284 t</p> <p>直近値 (R2) : 1,232 t</p> <p>到達目標 (R3) : 1,434 t</p> <p>目標 (R5) : 1,534 t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>生産量 (R2) : 1,232 t (対前年度比 : 94%)</p> <p>○新規就労者の確保(研修生の受け入れ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規研修生 (R3 11月末) : 室戸市 2人、東洋町 3人 ・ 既存研修生 (R3. 11月末) : 室戸市 3人、東洋町 2人 ・ 令和3年度の新規研修生面接の実施 (6/10 : 室戸市)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・生産組合、備長炭生産者への個別訪問等 (4月/3回:4人、6月/2回:2人、7月/4回:7人、 8月/2回:4人、9月/3回:6人、10月/2回:5人) <p>○原木材の造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カシノナガキクイムシ被害の定点調査 (5月/1回、6月/3回、7月/4回、8月/2回、 9月/5回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響による生産量の調整 ⇒取引先の間屋がストックできるため、大きな生産調整は受けていない。 ⇒新型コロナ感染者数の減少に伴い、製品出荷も通常に戻りつつあり、状況に注視しながら情報収集する。
<p>■No.6 馬路の林業加工品の販売促進(馬路村)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(株)エコアス馬路村 ◎・馬路林材加工協同組合 ・馬路村森林組合 	<p>[指標]</p> <p>(1) 木製品出荷額 出発点(H30):1.78億円 直近値(R2):2.09億円 到達目標(R3):1.99億円 目標(R5):2.13億円</p> <p>(2) 雇用者数 出発点(H30):22人 直近値(R2):22人 到達目標(R3):22人 目標(R5):22人(現状維持)</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 木製品出荷額(R3.11月末):1.59億円 (対前年同期比116%)</p> <p>(2) 雇用者数(R3.11月末):21人 (対前年同期比95%)</p> <p>○収益性の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馬路林材加工協同組合のモルダの更新予定(R4.3月) ・経営コンサルタント活用による馬路林材加工協同組合の事業戦略への支援(4/23、5/20、6/16、7/15、 8/19、9/14、10/19、11/17)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>・実施主体への個別訪問（4/23、5/19、6/23、9/14、10/19）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>新型コロナの影響による売上減 ⇒ウッドショックによる原木価格の高騰（前年の約2.5倍）により、利益率が低下したため、事業計画を見直し、利益率が高い製品販売の促進、経費削減を実施していく。</p> <p>補助事業（緊急原木協定購入等促進事業）等を活用することで、影響を最小限に止める。</p>
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大（室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・美阿丸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐室戸鮪軍団 ・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会 <p>◎・(有)タカシン水産（佐喜浜工場）</p> <p>◎・(有)山本かまぼこ店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁師の食卓 	<p>[指標]</p> <p>(1) 漁業者による加工品販売額</p> <p>出発点（H30）：45万円</p> <p>直近値（R2）：63万円</p> <p>到達目標（R3）：198万円</p> <p>目標（R5）：300万円</p> <p>(2) 水産加工業者による加工品販売額</p> <p>出発点（H30）：2.5億円</p> <p>直近値（R2）：0.95億円</p> <p>到達目標（R3）：2.7億円</p> <p>目標（R5）：3.0億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 漁業者による加工品販売額（R3.12月末）：47万円 （対前年同期比：105%）</p> <p>※ふるさと納税や一部の直販所での売上が増えたため。</p> <p>(2) 水産加工業者による加工品販売額（R3.10月末） ：1.18億円（対前年同期比：99%）</p> <p>○漁業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場建設に関する関係者協議（7回） ・事業計画に関する商工会との協議（2回） ・加工場建設に着手したが、資材費高騰により工事費が大幅に増加したため、工事実施の方向性を検討中 <p>○水産加工業者による加工品の製造販売</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に関する関係者協議 (4回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漁業者による加工品の製造販売 <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓、商品開発、事業計画(加工場)の実施 <ul style="list-style-type: none"> ⇒マグロ以外の地元商材を使用した新商品の開発 ⇒加工場の整備工事 ○水産加工業者による加工品の製造販売 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍対策 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ホテルや飲食店向けの売り上げ減少をカバーする新商品の開発や販路開拓の推進 ⇒商品の内製化(ネギトロ製造機の導入)による新商品の開発、ECサイトでの販路開拓の推進 ・衛生管理体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ⇒HACCPに対応した施設整備の検討等 ⇒新たに実施主体に追加した事業者の県版HACCP第3ステージの取得のため施設整備を実施するとともに新たな販路を開拓
<p>■No.8 室戸海洋深層水による地域産業の推進(室戸市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・深層水関連事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 	<p>[指標]</p> <p>スジアオノリの生産量(高岡漁港)</p> <p>出発点(H30):3.3t</p> <p>直近値(R2):3.6t</p> <p>到達目標(R3):3.5t</p> <p>目標(R5):3.6t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>スジアオノリの生産量(高岡漁港)</p> <p>(R3.11月末):2.1t(対前年同期比78%)</p> <p>(※)胞子の育成不良により生産量が悪化したため</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スジアオノリ養殖事業の円滑な運営 <ul style="list-style-type: none"> ・スジアオノリの高生産及び高品質化に関する研究 ○深層水商品のブランド化による販売力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・県外等でのイベント出展に向けた情報収集 ・県内イベント出展への支援 ○海洋深層水を活用した新たな地域振興の取り組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・構想に関する市、県との協議(4/13)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・構想に関する市、事業者との協議 (6/5、7/6、7/9、9/1) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スジアオノリの増産に必要な土地や人員の確保 ⇒必要な情報収集の継続 ・海洋深層水の機能性を生かした商品開発・販路拡大 ⇒企業による研究開発の推進 ・海洋深層水を活用した地域振興に向けた構想の具体化に向けた対応 ⇒新たな振興計画の予算化の検討 (室戸市)
<p>■No.9 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大 (室戸市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・協同キラメッセ室戸(有) ◎・室戸市 	<p>[指標]</p> <p>(1) 売上高</p> <p>出発点 (H30) : 4.1 億円</p> <p>直近値 (R2) : 3.2 億円</p> <p>到達目標 (R3) : 4.14 億円</p> <p>目標 (R5) : 4.2 億円</p> <p>(2) レジ通過者数</p> <p>出発点 (H30) : 251,612 人</p> <p>直近値 (R2) : 212,342 人</p> <p>到達目標 (R3) : 254,000 人</p> <p>目標 (R5) : 260,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 売上高 (R3.11月末暫定) : 2.03 億円 (対前年同期比 : 110%)</p> <p>(2) レジ通過者数 (R3.11月末) : 148,447 人 (対前年同期比 : 108%)</p> <p>○集荷体制の強化、実証圃の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市農村集落活性化協議会総会 (6/8) を開催し、庭先集荷、実証圃について協議 ・集荷ルートの拡大 <p>○加工品の開発、販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェラート新味「藍ジェラート」開発 ・ふるさと納税返礼品の活用 <p>H29:102,340 千円⇒H30:136,260 千円⇒R元:83,116 千円 ⇒R2 : 59,348 千円⇒R3.11 末時点 : 33,092 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS を活用した情報発信 (随時)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・加工品取扱先の拡大（アグリコレット、レストパーク等の等） ・県外道の駅との連携協議（12/14） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物出荷者の高齢化に伴う集荷体制の強化 ⇒庭先集荷のルート、集荷頻度の改善を検討 ・加工品や農作物（特に夏場）等の商品不足 ⇒実証圃（ホウレン草・イチゴ）の継続 ・コロナ禍の影響による売上高減少の可能性 ⇒オンライン販売強化（自社ECサイト充実や室戸ジオパーク推進協議会ECサイトの活用等）、県外道の駅との連携（商品の不足時期の相互補填）
<p>■No. 10 室戸市中心市街地の活性化（室戸市）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・室戸市商工会 ◎・室戸市 	<p>[指標]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業</p> <p>出発点（R元）：－</p> <p>直近値（R2）：2件</p> <p>到達目標（R3）：－</p> <p>目標（R2～R5累計）：2件</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業（R3.11月末）：4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中心市街地振興計画に基づく取り組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街事業者、室戸市商工会、室戸市3者による中心市街地活性化に関する意見交換会実施（6/11） ・室戸市中心市街地振興協議会開催（11/11） ○新規出店者の育成（チャレンジショップ事業） <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ出店事業 ⇒5事業者出店（H30～R3.12月末時点累計） うち1事業者が中心市街地で事業所を新規開業 ○賑わいの創出（イベント実施） <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市商工会、室戸市による周遊イベントに関する協議（7/6、7/20、11/11、12/6） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の人口減少や空き店舗の増加などによる商店街の魅力低下

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒新規出店者の育成(チャレンジショップ) ⇒コロナ禍に対応したイベントの実施(賑わい創出) ・中心市街地振興計画に基づく取り組みの着実な推進 ⇒商工会や室戸市、県などで構成される中心市街地振興協議会によるPDCAサイクルの実施 ⇒地域おこし協力隊等の外部人材の導入(R4年度予算化)
<p>■No. 11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化(安芸市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・安芸本町商店街振興組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸商工会議所 ・安芸市 	<p>[指標]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業</p> <p>出発点(H30):0件</p> <p>直近値(R2):0件</p> <p>到達目標(R3):0件</p> <p>目標(R5):3件(R2~R5累計)</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業(R3.11月末):0件</p> <p>○商店街振興計画策定に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の関係者等への情報収集及び活性化に向けた取組への協力依頼(6月:6名、7月:4名) ・振興計画策定の進め方・スケジュール、計画対象エリアなど詳細事項、振興協議会の設置、事務局の設置等について、商店街振興組合・商工会議所・安芸市・経営支援課等関係者間での協議を実施(5/19、6/1、6/7、7/7、7/21、8/10、8/11、9/16、9/29) ・振興協議会及び振興計画WGの開催に向けた協議を実施(10/15、10/22) ・振興協議会の開催(第1回:11/1、第2回:12/1) ・振興計画WGの開催(第1回:11/5、第2回:11/19、第3回:12/6、第4回:12/20) <p>○イベント等の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街内のギフトショップを中心とした市内事業者グループによるギフト商品の販売(母の日:5月、父の日:6月、お中元:6月~)とオンラインチーム会の開催(9月) ・商い甲子園実行委員会においてコロナ禍での感染防止策を講じた開催方法について検討(4/22、5/20)したが、県内での感染者数が増加傾向にあること等を鑑み

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>て同委員会にて中止決定 (6/24)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩崎弥太郎源流の地フォーラムの会場内において、商い甲子園のパネル展示を実施 (11/6) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街振興計画策定後の取組実現に向けた意欲醸成 ⇒WG内で各取組の実施主体や役割分担、スケジュール等詳細について協議・決定 ・昨年度に引き続き商い甲子園中止 ⇒来年度の開催方法について、振興計画WG内でその他取組と併せて検討。
<p>■No. 12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 	<p>[指標]</p> <p>(1) 売上高</p> <p>出発点 (H30) : 1.68 億円 直近値 (R2) : 1.35 億円 到達目標 (R3) : 1.72 億円 目標 (R5) : 1.76 億円</p> <p>(2) 来場者数</p> <p>出発点 (H30) : 177,809 人 直近値 (R2) : 140,231 人 到達目標 (R3) : 183,000 人 目標 (R5) : 187,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 売上高 (R3.11月末) : 1.00 億円 (対前年同期比 : 113%)</p> <p>(2) 来場者数 (R3.11月末) : 104,493 人 (対前年同期比 : 111%)</p> <p>※(1)(2)について、R3は休業期間を設けなかったため増加</p> <p>○魅力的な店舗づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化サポートセンターのアドバイザー派遣 (11月末) : 4回 ・レストラン部門メニューの見直し、メニュー表の改良、商品陳列方法のルール化 ・レストラン部門新メニューの提供開始 (7/1~) ・町内・町外の事業者と協力し、ぽんかん食パンの販売開始 (9月)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・運営体制の見直し・改善に向けた取り組みの開始（地域おこし協力隊2名の配置） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品の開発 ⇒新たな加工品開発・生産のためのアドバイザー活用 ・集客強化 ⇒イベントの開催及び誘致 ⇒SNS等を活用したPR
<p>■No. 14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大（奈半利町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・（一社）なはりの郷 ◎・奈半利町 ◎・奈半利なんでも市加工グループ ◎・NCL48 <ul style="list-style-type: none"> ・JA高知県（安芸地区） 	<p>[指標]</p> <ol style="list-style-type: none"> JA加工施設（奈半利味噌）の売上高 出発点（H30）：677万円 直近値（R2）：723万円 到達目標（R3）：816万円 目標（R5）：912万円 農水産加工施設の店舗売上高 出発点（R元見込）：800万円 直近値（R2）：1,256万円 到達目標（R3）：850万円 目標（R5）：900万円 集出荷センター取扱高 出発点（R元.7月～R2.6月見込）：5.4億円 直近値（R2.7月～R3.6月）：0.45億円 到達目標（R3.7月～R4.6月）：5.7億円 目標（R5.7月～R6.6月）：6億円 <p>[取り組み状況]</p> <ol style="list-style-type: none"> JA加工施設の売上高（R3.11月末）：497万円 （対前年同期比106.6%） 農水産加工施設の店舗売上高（R3.12月末）： 1,089万円 （対前年同期比114.7%） 集出荷センター取扱高（R3.7月～R3.12月）：0.06億円 （対前年同期比14.3%） <p>○集落活動センター運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度理事会の開催（12月末）：1回 ・定例会の開催（12月末）：9回

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)なはりの郷の収支改善 ⇒産振アドバイザー(課題解決型)を活用した収支改善に向けたPDCAサイクルの実施(6月～) ○一次産業部門 <ul style="list-style-type: none"> ・JA加工グループ、関係機関と協議(12月末):4回 ・農水産加工グループ、関係機関との協議(12月末):19回 ・とさのさとアグリコレットへの出品 ・農作業受託状況(12月末) 畦塗り27件、耕起108件、田植6件、その他14件 農作業オペレーター登録者(12月末):35名 ・不耕作地解消事業 ジャガイモ、キュウリ(夏、秋2作)、イチジク、米、ブロッコリーの栽培・出荷 ・施設園芸 なはりの郷の自社ハウスでナスの栽培・出荷 (地域おこし協力隊の退職により12月から休止中) 町レンタルハウスを活用したナスの栽培・出荷(10月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農水加工施設の収支改善 ⇒とさのさとアグリコレットへの出品の継続 ⇒なはりの郷の通販サイトを活用した販路の拡大 ⇒経営状況の共有及び目標の設定
<p>■No. 15 田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>◎・田野町</p> <p>・民間事業者</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 体験施設受入人数 出発点(H30):269人 直近値(R2):64人 到達目標(R3):560人 目標(R5):700人</p> <p>(2) 塩関連での就業者数 出発点(H30):2人 直近値(R2):2人 到達目標(R3):4人 目標(R2~R5累計):10人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 体験施設受入人数(12月末): 167人 ※新型コロナウイルスへの対応のため9月26日まで休館</p> <p>(2) 塩関連での就業者数(12月末): 4名(累計)</p> <p>○塩職人研修生修了式・命名式(8/7)、田野駅屋での販売イベント(8/8)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町と関係者間での連携体制の強化 ⇒研修生の育成、独立後の環境整備に向けた関係者間での協議 ・関連産業への波及 ⇒「道の駅田野駅屋」等と連携して、完全天日塩を活用した新メニュー開発 ・集客のためのPR(体験施設) ⇒町HP等で情報発信 ・製塩体験プログラムの磨き上げ ⇒ガイド内容の習熟に向けての検討
<p>■No. 16 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>◎・道の駅指定管理者(たの未来プロジェクト(株))</p> <p>◎・田野町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設指定管理者(中芸食材工房) ・生産者組織 ・地域団体 	<p>[指標]</p> <p>(1) 年間店舗売上高(1~12月) 出発点(H30): 2.7億円 直近値(R2): 2.5億円 到達目標(R3): 2.8億円 目標(R5): 2.8億円</p> <p>(2) 年間入込数(1~12月) 出発点(H30): 278千人 直近値(R2): 217千人 到達目標(R3): 289千人 目標(R5): 300千人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 年間売上高(1~11月): 212,597千円 (対前年同期比96.4%)</p> <p>(2) 年間入込数(1~11月): 210千人 (対前年同期比101.0%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外商の拡大に向けた地産外商公社等への田野駅屋野菜

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>情報の提供 (月1回)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒バスツアー客等を対象にした商品取り置きサービスの周知拡大など ・直販・飲食機能の強化 ⇒県の認証制度等を活用した情報発信や塩産業との連携強化
<p>■No. 18 地場産品直販所「かっぱ市」等による地域活性化 (芸西村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(有)かっぱ市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和リゾート(株) ・芸西村 ・生産者グループ 	<p>[指標]</p> <p>かっぱ市売上高</p> <p>出発点 (H30) : 1.4 億円</p> <p>直近値 (R2) : 1.4 億円</p> <p>到達目標 (R3) : 1.5 億円</p> <p>目標 (R5) : 1.5 億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高 (R3. 11 末) : 97,943 千円 (対前年同期比 : 110.2%)</p> <p>○魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取組</p> <p><かっぱ市></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化サポートセンターによる経営状況の確認や経営戦略の検討、POPによる販売促進、新事業の検討、レイアウト変更(冷蔵庫追加)の検討 (6/15、7/1、7/14) ・琴ヶ浜でのバーベキュー事業の実施 (11月～) <p><ロイヤルホテル土佐></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショップのリニューアルとカフェの設置(5月～) ・白玉糖を活用した新商品の開発 (5月～) ・ショップでの野菜の産直と東部地域特産品等の販売拡大(5月～) ・YouTube等のSNSを活用したロイヤルホテル土佐の取組等の情報発信 (通年) ・地域イベント(竹灯りの宵)と連携した誘客促進 (12/1～1/10)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○外商活動</p> <p><かっぱ市></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS(twitter、Instagram) を活用した情報発信 ・村内への移動販売の実施 ・POP の活用による販売の促進 ・土佐くろしお鉄道のウォーキングツアーと連携 (1/29 予定) <p><ロイヤルホテル土佐></p> <ul style="list-style-type: none"> ・白玉糖を活用した商品等を通販サイト「リゾゲット」にて販売開始 (5月～) ・芸西村の外出割引キャンペーンとの連携 (10月～) ・土佐くろしお鉄道と連携した旅行商品発売 (11月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <p><かっぱ市></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営体制のさらなる強化・認知度の向上 ⇒専門家の助言に基づく経営戦略や新規事業による新たな顧客の確保 ⇒取扱い商品の充実と確保 <p><ロイヤルホテル土佐></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元と連携した地域商品の販売促進及び新メニューの開発 ⇒通販サイトでの新たな取扱い商品の確保 ⇒誘客のための新メニューの開発
<p>■No. 19 安芸地域の観光振興の推進 (安芸地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)高知県東部観光協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 	<p>[指標]</p> <p>(1) 圏内主要施設訪問者数 (1～12月)</p> <p>出発点 (H30) : 2,454,671人</p> <p>直近値 (R2) : 1,846,874人</p> <p>到達目標 (R3) : 2,547,996人</p> <p>目標 (R5) : 2,606,000人</p> <p>(2) 圏内宿泊者数 (1～12月)</p> <p>出発点 (H30) : 142,741人</p> <p>直近値 (R2) : 88,124人</p> <p>到達目標 (R3) : 147,762人</p> <p>目標 (R5) : 150,000人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 圏内主要施設訪問者数 (R3.1～10月見込) : 1,469,298人 (対前年同期比:96.2%)</p> <p>(2) 圏内宿泊者数 (R3.1～10月見込) : 56,730人 (対前年同期比:86.7%)</p> <p>○組織体制の強化と関係団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県東部広域観光振興計画(第2期)策定に向けたワーキンググループ会議開催(7/12、10/20、12/2) ・ひがしこうちアンケートのデータ収集・分析 アンケート結果分析を協力施設及び会員等へフィードバック(4～12月:訪問、会議等での説明) ・WEBサイトのアクセス分析(4月～四半期毎) ・令和3年度観光庁「観光地域づくり法人による宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業」モデル地域として採択・同事業の推進 事業者説明会:6/21～23、7/20、21、12/14 アプリ検討座談会:7/30、8/16、30、12/10 (宿泊データ分析システム事業参画宿泊施設:7施設) ・滞在型観光プラン整備計画(R2策定)の推進(検討会:5/14、協議等:6/10、8/11、9/28) ・高知東部食プロジェクト(検討会:6/17、8/19、10/11) ・日本遺産関連の取組支援(会議等への参加・取組実施に係る支援/4～12月:40回) ・職員研修の実施(デジタルマーケティング研修:8/26、9/10、12/13 SNS情報発信研修:10/5、6) ・観光列車「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」四国DCごめん・なはり線特別運行に係るおもてなし等実施 (運行日:10/8～12/24の毎金曜日と10/31(日)) お手ふり・お出迎え等おもてなしの実施(全日程) 各市町村PR等費用助成(上限10万円/7市町村に助成金交付) <p>○戦略的な広報・PR活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬空港に電子版の広告掲出(4～3月) ・高速道路サービスエリアでのパンフレット配架(4～3月:豊浜SA[Ⓔ]、7～9月:淡路SA[Ⓔ]) ・YouTube インストリーム広告配信(6/26～7/31:関東・関西・四国)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○インバウンド対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2 訪日グローバルキャンペーン等に対応したコンテンツ造成事業報告会 参加 (5/26) ・交通データ整備・情報提供の強化 観光庁 R3 観光振興事業費補助金 (世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業) による外部専門人材の登用 (専門分野: 外国人旅行者が快適かつ安全に周遊・滞在できる受入環境の整備) 基本データ整備に関する市町村訪問説明 (5/11、7/6、8/13)、11月末時点: 高知東部交通・室戸市・安芸市・田野町・芸西村の基本データ整備完了 ・香港ブックフェア オンライン中継によるPR (7/18) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMOとしての体制強化 ⇒次期広域観光振興計画策定と併せた、現状をふまえた実行性のある戦略策定 ⇒観光地域づくり推進員の活動を生かしたマーケティング機能強化 (観光庁実証事業の推進) ⇒令和2年度に策定した滞在型観光プラン整備計画の推進による組織体制強化及び関係団体との連携強化 ・ターゲット層やターゲットエリアを意識した戦略的な広報・PR活動の展開 ⇒WEBサイトやSNSに関するアクセス分析をPRに活用 ⇒ひがしこうちHPの内容の充実 (多言語版ページ含む) ⇒県の観光情報サイト (よさこいネット、リョーマの休日キャンペーンサイト、VISIT KOCHI JAPAN等) 等と連携したPRの実施 ・消費の拡大を意識した、域内での周遊促進や滞在型観光の取り組みの推進 ⇒滞在型観光プラン整備計画 (R2策定) の推進による、魅力的な観光コンテンツ造成や周遊企画の実施 ⇒ひがしこうちならではの「食」の開発の実施 ⇒土佐の観光創生塾等と連携した着地型商品の造成
<p>■No. 20 日本遺産を活用した中芸地域の活性化 (奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p>	<p>[指標]</p> <p>中芸地域主要施設訪問者数 出発点 (H30) : 537,560人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《実施主体》</p> <p>◎・中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 	<p>直近値 (R2) : 437,812 人</p> <p>到達目標 (R3) : 540,000 人</p> <p>目標 (R5) : 550,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>中芸地域主要施設訪問者数実績(R3.11月末) : 331,324 人 (対前年同期比 : 109.3%)</p> <p>○日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力イベント「ゆずフェス」開催に向けたWGの開催 (7回 : 4/16、5/13、7/2、7/16、7/26、8/6、8/25) 「ゆずフェス」開催 : 10/24~12/5 18プログラム 337名参加 ・ゆず林鉄 expo2022 開催に向けたWGの開催 (4回 : 5/7、5/25、6/15、7/9) ・拠点施設整備に関するWGの開催 (1回 : 6/14) ・日本遺産ガイド養成講座開始 (全5回) (12月~) ・日本遺産関連ツアーの実施 (5/13 : 12名、6/25 : 11名、11/24 : 15名、12/4 : 25名、12/5 : 10名、12/11 : 14名) ・ゆず収穫体験モニターツアーの実施 (11/6 : 17名) ・全国ハーブサミット・フェスティバル in 中芸開催 (10/30、31) オンライン併用開催 (地域ステーション 6,491人、動画視聴者数 2,965人) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自走に向けた方向性、戦略の策定 ⇒認定後4年間の事業内容の検証及び戦略会議等を活用した方向性の決定 ・訴求力あるイベント企画及び情報発信の強化 ⇒第7回ゆずフェス及びゆず林鉄 expo2022 開催 ⇒中芸の見所100選の選定、「一店一品」運動の実施による情報発信 ・旅行ツアー商品の開発及びガイドの育成 ⇒東部観光協議会等と連携した旅行商品の開発 ⇒ガイド養成講座の実施

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興（室戸市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・室戸市</p> <p>◎・(一社)室戸市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸ジオパーク推進協議会 ・(株)日本ドルフィンセンター ・NPO 法人日本ウミガメ協議会 ・土佐備長炭窯元炭玄 ・民間事業者 	<p>[指標]</p> <p>(1) 室戸市主要施設訪問者数</p> <p>出発点 (H30) : 805 千人</p> <p>直近値 (R2) : 506 千人</p> <p>到達目標 (R3) : 820 千人</p> <p>目標 (R5) : 850 千人</p> <p>(2) 室戸世界ジオパークセンター来館者数</p> <p>出発点 (H30) : 87,318 人</p> <p>直近値 (R2) : 41,692 人</p> <p>到達目標 (R3) : 90,000 人</p> <p>目標 (R5) : 90,000 人</p> <p>(3) 室戸ドルフィンセンター来場者数</p> <p>出発点 (H30) : 27,693 人</p> <p>直近値 (R2) : 15,652 人</p> <p>到達目標 (R3) : 30,000 人</p> <p>目標 (R5) : 30,000 人</p> <p>(4) むろと廃校水族館来館者数</p> <p>出発点 (H30) : 168,333 人</p> <p>直近値 (R2) : 68,776 人</p> <p>到達目標 (R3) : 135,000 人</p> <p>目標 (R5) : 121,200 人</p> <p>(5) MUROTObase55 (旧ライダーズイン) 利用者数</p> <p>出発点 (H30) : -</p> <p>直近値 (R2) : 1,785 人</p> <p>到達目標 (R3) : 5,656 人</p> <p>目標 (R5) : 6,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 室戸市主要施設訪問者数 (R3. 10 月末) : 379,582 人 (対前年同期比 : 89.5%)</p> <p>(2) 室戸世界ジオパークセンター来館者数 (R3. 11 月末) : 39,993 人 (対前年同期比 : 129%)</p> <p>(3) 室戸ドルフィンセンター来場者数 (R3. 11 月末) : 9,781 人 (対前年同期比 : 75%)</p> <p>(4) むろと廃校水族館来館者数 (R3. 11 月末) : 51,505 人 (対前年同期比 : 100%)</p> <p>(5) MUROTObase55 (旧ライダーズイン室戸) 利用者数 (R3. 11 月末) : 宿泊 2,210 人、食事 306 人 (対前年同期比 : 宿泊 302%、食事 54%)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>※ (2)、(5) について、R3 は休業期間を設けなかったため増加</p> <p>※ (3) は従業員が新型コロナウイルスに罹患したため稼ぎ時の夏休み期間に休業を設けたこと等が影響</p> <p>○室戸市主要観光施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊企画 (スタンプラリー) 実施 くじらリー (R3ver) 開催 (7/13～1/16 予定) 企画展「室戸の 10 人の踊り手」開催 (11/3～12/26) 「むろとまるごと産業まつり」開催 (12/26) むろと廃校水族館 「イルミネーション企画」 (12/27～1/9 予定) <p>○周遊観光の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊 4 名体制の維持 ・土佐くろしお鉄道と連携したプログラムの造成・実施 ・教育旅行の受入 (6/22～) ・観光庁事業を活用した新商品開発、ワーケーションルート検討 (7 月～) ・閉鎖施設 (ちばうま八、鯨浜) 購入による拠点化、観光振興の検討 (室戸市) <p>○室戸世界ジオパークセンター・ジオパークガイド利用者数 (R3. 11 月末) : 1,470 人 (対前年同期比 : 152%)</p> <p>※R3 は休業期間を設けなかったため増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク推進協議会総会 (6/10) 室戸世界ジオパークセンター展示リニューアル・拡充、室戸ジオパーク関連商品の販売、ジオパーク推進協議会の法人化等を協議 ・室戸ジオパーク活動推進チーム全体会議の開催 (10/28) 住民参画の各チーム活動の振り返り、今後の活動方針等を協議 ・ジオばた会議の開催 (11/25～) ・イベント・企画の実施 室戸ユネスコ世界ジオパークフォトコンテスト・<u>記念切手の発行</u> (～5/31) : 116 件応募 ガイド養成講座の実施 (7/5～7/11、11/6) : 23 名参加 企画「サイエンスカフェ」の開催 (7/10) 企画展「室戸の 10 人の踊り手」の開催 (11/3～12/26)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 活用による情報発信 (随時) ○室戸ドルフィンセンター <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 活用による情報発信 (随時) ・ 高知県観光施設等緊急整備事業費補助金を活用した キッチントレーラー、海上アスレチック、ポンツーン等の整備・運用 (7月～) ・ 室戸岬漁港施設用地利活用検討委員会開催 (5/21、8/6、11/26) ○むろと廃校水族館 <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 活用による情報発信 (随時) ・ イベント・企画の実施 「あなたのシイラない魚介」(7/10～9/30) 「Marine キャンプ水族館に泊まろう!」(12/26～27) 「イルミネーション企画」(12/27～1/9 予定) ・ 旧椎名小学校体育館活用検討委員会開催 (6/28、12/20) ○MUROTObase55 (旧ライダーズイン室戸) <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 活用による情報発信 (随時) MUROTObase55 と周辺施設などが連携した周遊メニューの検討 ・ 高知県観光施設等緊急整備事業費補助金を活用した屋外風呂等の整備 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設間連携による周遊・滞在型観光への転換 ⇒観光・宿泊・飲食事業者等との協議の場の設置 ⇒ツアー造成やスタンプラリーの内容強化の検討 ⇒高知県観光コンベンション協会や東部観光協議会との連携による、ツアーの磨き上げや旅行会社等への売り込み強化 ・ ジオパークガイドの人材確保及びツアーの磨き上げ ⇒ガイド養成講座などによるジオツアーの磨き上げ ・ 室戸世界ジオパークセンターの磨き上げ ⇒展示内容のリニューアル、隣接する体育館や空き地の利活用検討 ・ むろと廃校水族館 ⇒屋外プールの取水機能の安定化、バリアフリー化の推進 ・ MUROTObase55 の安定運営

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	⇒周辺施設等との連携メニューの造成 ・コロナ禍における観光入込客数等の回復 ⇒観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 MUROTObase55 の整備
<p>■No. 22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進 (安芸市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・安芸市</p> <p>◎・(一社)安芸市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 ・JA 高知県 (安芸地区) ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廊中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜揚げちりめん丼」楽会 ・道の駅大山 ・安芸商工会議所 ・「はばたけ彌太郎」安芸市推進委員会 	<p>[指標]</p> <p>(1) 市内年間観光客数</p> <p>出発点 (H30) : 278,442 人</p> <p>直近値 (R2) : 128,835 人</p> <p>到達目標 (R3) : 260,000 人</p> <p>目標 (R5) : 300,000 人</p> <p>(2) 市内年間宿泊者数</p> <p>出発点 (H30) : 25,726 人</p> <p>直近値 (R2) : 20,479 人</p> <p>到達目標 (R3) : 25,900 人</p> <p>目標 (R5) : 26,500 人</p> <p>(3) ちりめん丼販売食数</p> <p>出発点 (H30) : 46,872 食</p> <p>直近値 (R2) : 26,522 食</p> <p>到達目標 (R3) : 47,000 食</p> <p>目標 (R5) : 50,000 食</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 市内年間観光客数 (R3. 12 月末) : 91,839 人 (9 月末対前年同期比 : 83%)</p> <p>(2) 市内年間宿泊者数 (R3. 12 月末) : 14,727 人 (9 月末対前年同期比 : 98%)</p> <p>(3) ちりめん丼販売食数 (R3. 11 月末) : 15,308 食 (対前年同期比 : 83.0%)</p> <p>※(1)(2)について、前年 12 月末データがないため 9 月末時点の対前年同期比を記載。</p> <p>○岩崎弥太郎を活かした安芸市観光の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩崎弥太郎が綿花等栽培をしていた場所の対岸へ説明板を設置 ・岩崎弥太郎源流の地フォーラムの開催 (11/5、11/6) ・弥太郎の生誕を祝うキャンドルナイトの開催 (12/11)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸駅ちばさん市場で「岩崎家ゆかりの地フェア」を開催(12月) ○地域食材等を活用した誘客の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・県立歴史民俗資料館での「れきみんの日」イベントにちりめん井楽会が出店(5月) ・安芸市施設園芸品消費拡大委員会による安芸市産の野菜や加工品等の詰め合わせセット販売企画の実施(6月) ・産業振興アドバイザー(課題解決型)の活用による「安芸駅ちばさん市場」の課題の洗い出しと対策案の検討(8月～) ○観光資源の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・伊尾木あなごう保存会による伊尾木洞観光案内所周辺での観光客向け飲食販売の試行(5月～)(R2年度に産業振興アドバイザー(課題解決型)を活用) ・手づくりのぼり窯フェスタ実行委員会において、コロナ禍における感染防止策を講じた開催方法について検討(5/14)したが、県内での感染者数が増加傾向にあること等を鑑みて同委員会にて中止決定(6/25) ・安芸広域公園においてバーベキュー利用(火気使用)の試行を実施(7月～9月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍(アフターコロナ)における観光推進の在り方 ⇒イベントや体験観光等、安心安全な実施方策について関係者間で検討 ・観光客の満足度向上 ⇒地域食材を活用した新たな商品の開発への支援
<p>■No. 23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進(室戸市、東洋町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(一社)東洋町観光振興協会 ◎・東洋町 <ul style="list-style-type: none"> ・地元マリンスポーツ等関係事業者 ・宿泊事業者 ・阿佐海岸鉄道(株) ・東洋町商工会 	<p>[指標]</p> <p>(1) 体験者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発点(H30): 465人 直近値(R2): 2,969人 到達目標(R3): 3,500人 目標(R5): 5,000人 <p>(2) 東洋町主要施設訪問者数(1～12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発点(H30): 231,780人 直近値(R2): 206,830人 到達目標(R3): 246,000人

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト ・ (一社) 高知県東部観光協議会 ・ 室戸市 	<p>目標 (R5) : 250,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(1) 体験者数 (R3. 10 月末) : 2,487 人 (対前年同期比 : 84%)</p> <p>(2) 東洋町主要施設訪問者数 (R3. 10 月末) : 200,328 人 (対前年同期比 : 118%)</p> <p>※R3 は休業期間を設けなかったため増加</p> <p>○海上アスレチック (ビーチホッピング) 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビーチホッピング実施に向けた部会の開催 (2 回) ・ イオンモール高知にて PR (れんけいこうちのイベントへの出店 6/19、6/20) ・ ビーチホッピング開催 (7/17~8/31) ・ ジャンボスライダーの導入 (運用開始 7/17~) ・ 地域おこし協力隊 1 名の採用 (6 月) <p>○新たな事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サーフスケートパークの試験運営 (11/20~11/28) <p>○DMV (デュアル・モード・ビークル) を活用した観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PR のぼり旗の作成 ・ DMV 関連グッズの販売 (海の駅東洋町) ・ イオンモール高知にて PR (れんけいこうちのイベントへの出店 6/19、6/20) ・ シェアサイクルサービス「PiPPA」の導入 (7/1~) ・ DMV キャラバン (12/6、12/7) ・ DMV 試乗会 (12/9~12/21) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動の強化 ⇒ 県内・関西地域における観光 PR、SNS を活用した観光 PR ・ 体験型観光における新型コロナウイルス感染症対策 ⇒ 新しい生活様式に基づいた感染予防対策の周知及び実施 ・ 東洋町全体の観光振興 ⇒ 野根川流域、DMV (デュアル・モード・ビークル) 目的の観光客も含めた一体的な観光振興の推進

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 奈半利町の観光施設の誘客強化による交流人口の拡大(奈半利町)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)なはりの郷</p> <p>◎・奈半利町</p> <p>・藤村製糸(株)</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 藤村製糸記念館来館者数(1~12月)</p> <p>出発点(H30): 1,000人</p> <p>直近値(R2): 626人</p> <p>到達目標(R3): 1,250人</p> <p>目標(R5): 1,500人</p> <p>(2) 海浜センター利用客数</p> <p>出発点(H30): 562人</p> <p>直近値(R2): 361人</p> <p>到達目標(R3): 1,284人</p> <p>目標(R5): 2,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 藤村製糸記念館来館者数(R3.12月末): 411人 (対前年同期比 65.7%)</p> <p>※R2は関係者の葬儀があったため記念館の来館者が多かった</p> <p>(2) 海浜センター利用客数(R3.12月末): 375人 (対前年同期比 103.9%)</p> <p>※R3はコロナの感染拡大に伴う修学旅行の延期・中止の影響により、コロナ前と比較すると、利用者数は3割以上減少</p> <p>・高知県地域観光振興交付金を活用した奈半利町ふるさと海岸の施設整備(R3年度は、昨年度策定した奈半利町観光基本計画に基づく海浜センター及びふるさと海岸の整備を行う)</p> <p>・SNSを活用した情報発信の強化</p> <p>・観光基本計画にかかる説明会(9/30)</p> <p>・観光戦略会議の開催(12/9)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・ふるさと海岸の施設整備 ⇒基本計画に基づく整備の着実な実施</p> <p>・集客力アップに向けた取り組み ⇒海浜センターを拠点とした体験メニューの充実及び周遊計画の策定 ⇒SNSを活用した積極的な情報発信によるファンの獲得 ⇒受入人数の増に向けたスタッフや備品の融通など他施</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>設との連携策の検討</p>
<p>■No. 25 安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化(安田町)</p> <p>《実施主体》 ◎・安田町</p>	<p>[指標]</p> <p>キャンプ場利用者数</p> <p>出発点 (H30) : 2,527 人</p> <p>直近値 (R2) : 53 人</p> <p>到達目標 (R3) : 4,000 人</p> <p>目標 (R5) : 6,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>キャンプ場利用者数 (R3. 11 月末) : 5,366 人 (対 R 元年同期比 : 183%)</p> <p>※R3 年度は 4/24 から利用開始。</p> <p>R2 年度は 4/20 から閉鎖したため R 元年度と比較。 コロナ禍でのキャンプブームの追い風とリニューアルオープンのために大幅に増加している。</p> <p>○再整備によるキャンプ場リニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約受付開始 (4/1) ・(有)ダディーズオピニオンが指定管理者に決定 (4/1) ・リニューアルオープン、記念イベントの実施 (4/24) ・さんしん Go!にて取り組み紹介 (5/16) ・コールマンパートナーシップフィールドイベント第 1 弾実施 (6/19、20) ・味工房じねんと連携協議 (6 月) ・日本遺産「ゆずフェス」でのイベント実施 (11/27、28 BBQ 講座 : 22 名参加) ・Xmas イベントの開催 (12/18) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客に向けた取り組みの実施 ⇒定期的な魅力あるイベントの実施 ・顧客サービスの向上への取り組み ⇒周辺観光施設等との連携による相互誘客の仕組みづくりの検討
<p>■No. 26 北川村観光 3 施設の誘客強化による交流人口の拡大(北川村)</p>	<p>[指標]</p> <p>各施設入園(館)者合計数(4~3月)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(株)きたがわジャルダン ◎・北川村 <ul style="list-style-type: none"> ・北川村観光協会 ・北川村中部地区集落活動協議会 ・NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会 	<p>出発点 (H30) : 94,350 人 直近値 (R2) : 70,593 人 到達目標 (R3) : 103,000 人 目標 (R5) : 108,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>各施設入園 (館) 者合計数 (R3.11 月末) : 66,197 人 (対前年同期比 : 119.9%)</p> <p>○北川村「モネの庭」マルモッタン : 52,994 人 (対前年同期比 : 120.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新春オープンイベント「チューリップ、チューリップ」の開催 (4/1~4/11) ・モネの庭 20 周年記念式典の開催 (4/20) ・開園 20 周年記念「押し花アーティスト杉野宣雄展 in モネの庭」の開催 (5/19~7/6) ・「花々展—百花繚乱—」の開催 (7/17~9/4) ・企画展「ブルービー展」の開催 (7/19~9/30) ・「モネのナイトキャンバス」開催 (10/2~12/12) ※期間中の土日のみ開催 ・「第 27 回全国ハーブサミット in 中芸・中芸ハーブフェスティバル 2021」地域会場 (10/30~10/31) <p>○中岡慎太郎館 : 3,168 人 (対前年同期比 : 112.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リョーマの休日関連企画「北川村あの日あの時」の開催 (4/1~4/18) ・企画展「中岡慎太郎館コレクション展—幕末維新に起こった戦争関係資料—」の開催 (5/1~7/18) ・土佐勤王党結成 160 年記念企画「武市半平太—土佐勤王党盟主の素顔—」の開催 (7/31~9/20) ・第 65 回書宗院展高知巡回展の開催 (11.27~12.5) <p>○北川村温泉ゆずの宿 : 10,035 人 (対前年同期比 : 120.0%)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による入園 (館) 者数の減少 ⇒新型コロナ対策を実施したイベント・企画展等の企画、開催 ⇒SNS 等の情報発信ツールを使った定期的なイベント等 PR 活動の実施 ⇒集客に向けた取り組みの強化として、北川村観光協会

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>主催の村内施設・店舗周遊企画「慎太郎パスポート周遊ラリー」を実施</p>
<p>■No. 29 集落活動センターやなせを拠点とした馬路村魚梁瀬地区の活性化（馬路村）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・集落活動センターやなせ運営協議会</p> <p>・馬路村</p>	<p>[指標]</p> <p>観光客入込数</p> <p>出発点 (H30) : 4,853 人</p> <p>直近値 (R2) : 2,990 人</p> <p>到達目標 (R3) : 5,726 人</p> <p>目標 (R5) : 6,300 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>観光客入込数 (R3. 11 月末) : 4,521 人 (対前年同期比 : 188%)</p> <p>※R2 年度は改修工事のため 4 月のみの営業となっていたやなせの湯が、4/26 から営業再開(土曜日のみ営業)したため。(対 R 元年同期比 : 104%)</p> <p>○集落活動センターによる観光施設の運営 (魚梁瀬森林鉄道乗車体験及び魚梁瀬森林公園オートキャンプ場)</p> <p>○集落活動センター推進事業費補助金の活用(車両の購入)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無償運送事業の実施検討 ⇒事業の試行に向けた協議、事業運営体制の確立 ・集落活動センター事業の担い手確保 ⇒地域内人材の掘り起こし、地域おこし協力隊等の外部人材の導入
<p>■No. 30 集落活動センターげいせいを拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり（芸西村）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・集落活動センターげいせい</p> <p>・芸西村</p>	<p>[指標]</p> <p>加工品等販売額</p> <p>出発点 (H30) : 108 万円</p> <p>直近値 (R2) : 180 万円</p> <p>到達目標 (R3) : 340 万円</p> <p>目標 (R5) : 500 万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>加工品等販売額 (R3. 11 月末) : 170 万円 (対前年同期比 : 270.7 %)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>※商品数の増加と販路拡大による販売額の増</p> <p>○商品（白玉糖を活用したスイーツ）の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域振興アドバイザー（お菓子づくりの専門家講師）を招聘（9/7、9/21、10/5） <p>○外商の基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県版 HACCP 旧第2ステージ取得（5/17） ・ 白玉糖を活用した商品の販売（5月～） （ロイヤルホテル土佐、高知空港、県庁生協等） ・ 芸西村ふるさと納税作業受託（5月～） ・ ふるさと・えいもん集マルシェ研修会への参加 2名 （5/31） ・ 「産業振興計画」特別番組で集落活動センターげいせいの取組を紹介（6/13、6/19） ・ 中山間対策広報特別番組で集落活動センターげいせいの取組を紹介（9/18、9/26） ・ ANA「高知家」応援キャンペーンとの連携（11月～） ・ まるごと高知でのセールスプロモーション （2/25、2/26 予定） <p>○シキミの栽培・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シキミの栽培管理と出荷作業（通年） <p>○さとうきびの栽培・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さとうきびの栽培管理と白玉糖づくり（通年） <p>○竹林の整備と竹の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伐採した竹を活用し、村内イベント「竹灯りの宵」との連携（10月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集落活動センター事業での収益の拡大 ⇒加工商品の販路拡大 ⇒あらたな収入源になる事業の確保 ・ 商品訴求力の向上 ⇒原材料である白玉糖のブランド力強化 ⇒アドバイザー活用による新商品開発

2 令和3年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取り組み	事業概要	総事業費（補助金額）
No.7 芸東地域の水産物の付加 価値向上と販路拡大（室戸市） R4.1.6 交付決定	高知県産魚を活用した水産加工品 施設整備事業	205,355（50,000）

地域産業クラスタープロジェクトの推進

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、19のプロジェクトを位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域	分野	プロジェクトNo.・名称		取り組み概要（目指す姿）	取り組み状況	
安芸	農業	No.1 日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト		県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を目指して、新技術の定着や担い手対策を進める。また、ナスの機能性表示を生かした青果販売や新たな加工品の開発・販売及び地元飲食店等での利用促進に組み、クラスターの形成を図る。	これまでの取り組み（H28～R2）	日本一のナス産地の維持・発展のため、最新技術の研究及び導入から新規参入まで一貫した支援を実施。また、ナスを活用した新たな加工品やメニューの開発に取り組むとともに、道の駅大山や地元飲食店等による販売促進を行ってきた。 R2年度は環境制御技術の向上や病害対策の徹底等に取り組み、出荷量が5,162tとなった（R2目標4,805t）。また、焼きナスソフトクリーム及び焼きナスの豆乳アイスの開発をするともに、市内のナス料理等提供店18店舗が参加するスタンプラリーを開催した。
		関連する地域AP	No.2 日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト		R3年度の取り組み	【取り組み状況】 環境制御技術の向上や病害対策の徹底指導を実施。また、新規就農者に対し経営・栽培指導を実施するとともに、機能性表示のPR動画の公開及びチラシ・ポスター・のぼり旗の作成を実施。 R3年度出荷量は5,452tとなった（R3目標4,895t）。 【課題と今後の対応】 ナスを原材料とする加工事業者の掘り起こし及びナスの機能性表示を活かした効果的なPR方法の検討 実施主体に（一社）こうち絆ファームを追加。（R4年度に農福連携のハウス増設予定のため） 安芸市クラスタープラン（H29.3.26策定：5年間）更新予定。